

# 令和2年7月13日から 7月14日の大雨に関する 愛知県気象速報

## 目次

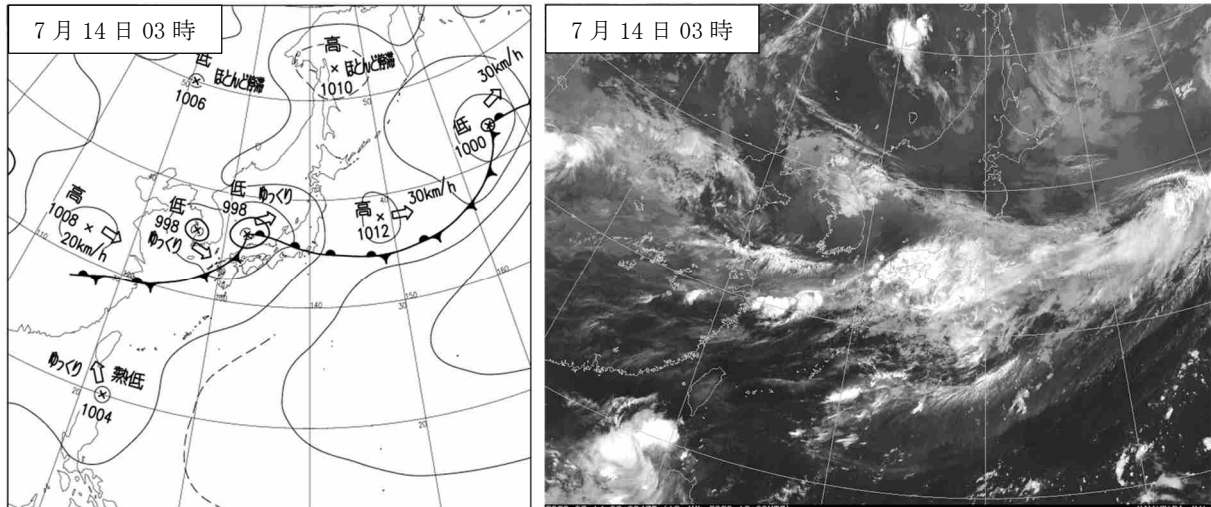
- 1 気象概況
- 2 大雨の状況等
- 3 発表情報

令和2年7月15日  
名古屋地方気象台

注：本資料は速報として7月15日09時までの状況を取りまとめたものです。  
後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

## 1 気象概況

梅雨前線が西日本から東日本を通過して日本の東にのびており、前線上の低気圧が日本海西部を東北東へ進み、前線が14日夜に東海地方を通過した。前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。

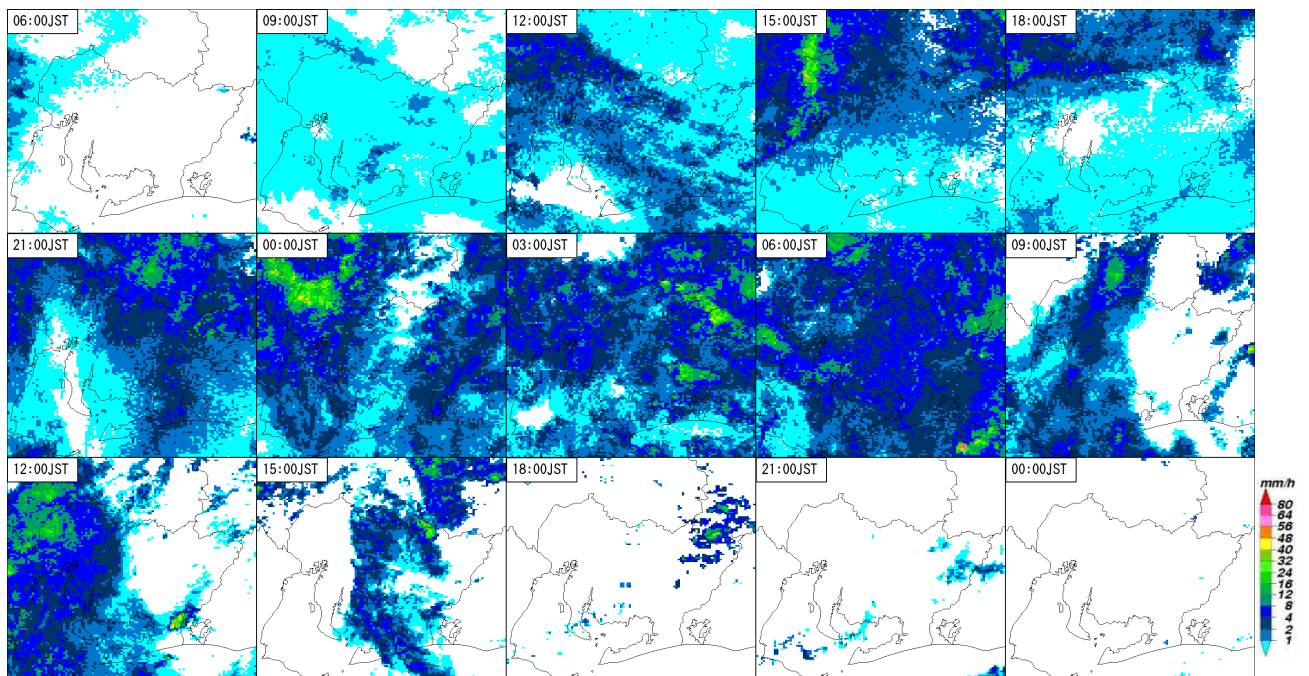


7月14日03時の地上天気図（左）と気象衛星赤外面像（右）

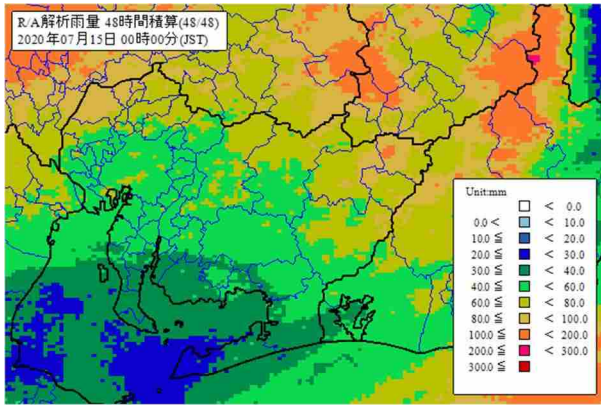
## 2 大雨の状況等

愛知県では7月13日朝から雨が降り始め、13日夕方から14日夕方にかけて断続的にやや強く降った所があり、東三河北部では14日明け方に強く降った所があった。総雨量は尾張西部や東三河北部を中心に多くなり、一部で100ミリを超えた所があった。

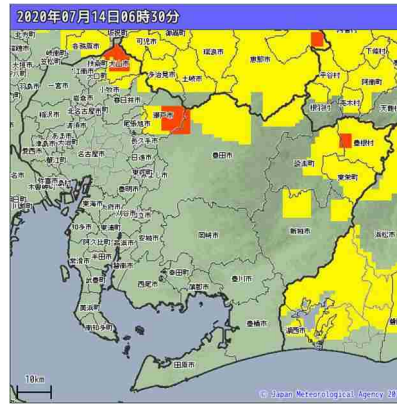
土砂災害の危険度の高まりが予想された市町村に大雨警報（土砂災害）〔警戒レベル3相当〕を発表した。



レーダーエコー合成図(7月13日06時～7月15日00時)



48 時間積算解析雨量分布図  
(7月13日00時~7月15日00時)



大雨警報(土砂災害)の危険度分布  
(7月14日06時30分)

※解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間の雨量を解析したものである。この分布の値は雨量計で観測された値ではなく、レーダーなどの資料も含めて解析した値のため、実際の雨量と異なる場合がある。

